



2月25日(火) 市長室

延方・水の郷を育てる会 茨城県土地改良事業団体連合会長賞 受賞

第12回 茨城美しい水土里づくり優良活動表彰が行われ、延方・水の郷を育てる会が、茨城県土地改良事業団体連合会長賞を受賞し、受賞の報告と活動について原市長と懇談されました。

延方・水の郷を育てる会は、平成27年度に組織を設立し、延方西地区から道の駅いたこに向かう農道の路側帯に四季折々の花を植栽するなど、様々な活動を行っています。



2月12日(水) 茨城県市町村会館

茨城県市長会 自治功労賞 受賞

長年に渡り公共の事業に貢献し、地方自治の振興発展に寄与された方などに贈られる茨城県市長会自治功労者表彰式が茨城県市町村会館で行われ、潮来市から谷玄明げんみょうさんが受賞されました。谷さんは、潮来市文化財保護審議会委員として、40年以上にわたり文化財の保護・活用に関する活動に貢献されたほか、住職を務めていた長勝寺を観光客に開放するなど、文化財を活用した観光振興にも貢献されています。おめでとうございます。



2月28日(金) 市長室

小堀 進先生の絵画を寄贈いただきました

潮来市の画家であり、名誉市民の故 小堀進先生の絵画を下山田 虎之介さんに寄贈していただきました。下山田さんのご自宅で保管されていましたが、「小堀先生は潮来市出身の画家、潮来で保管していただければ」と話されていました。下山田さんは北茨城市出身で、日本ベトナム友好協会茨城支部の初代支部長であり、現在も日本とベトナムとの友好運動に活躍されています。素晴らしい作品を寄贈していただき、ありがとうございました。



2月27日(木) 市長室

第69回 障害者自立更生等厚生労働大臣表彰 受賞

自らの障がい克服し、自立更生をして他の障がい者の規範となる方に贈られる、障害者自立更生等厚生労働大臣表彰の式典が、2月17日(月)中央合同庁舎第5号館で行われ、潮来市から松崎 昌樹しやうじゆさんと飯笹 雅之さんが受賞されました。式典後には皇居に移動し、天皇皇后両陛下と拝謁されました。2月27日に原市長を表敬訪問し、受賞の報告や式典の様子などについて懇談されました。おめでとうございます。



2月21日(金) 潮来ホテル
地方創生を考える特別講演会 開催

元潮来税務署長で、財務省政策立案総括審議官の岡本 直之さんによる「地方創生を考える特別講演会」が開催され、会場には、潮来市だけでなく鹿行各市から約200人の方が出席しました。岡本さんは、「自分たちの住んでいる地域を見て、どんなものがあるのか、どのように生かしていけるかが大事。少子高齢化が進む中で、地域資源を使ってどのように稼いでいけるか考えていかなければならない」と話されました。



2月18日(火) 市長室
古高子供会 令和元年度
優良子ども会等表彰 受賞の報告

1月26日(日)に令和元年度 優良子ども会等表彰式で「茨城県子ども会育成連合会理事表彰」と「茨城県知事表彰」を受賞した古高子供会の小学5・6年生が、原市長を表敬訪問し、受賞の報告と活動についてお話をしました。



2月15日(土)~27日(木)
津軽河岸あと広場 石の蔵ほか
水郷いたこ雛巡り 開催

雛人形やつるし飾りが、津軽河岸あと広場 石の蔵などを彩りました。市内の協力施設でスタンプラリーや雛祭り限定の御朱印が実施され、期間中の土・日曜日には、ワークショップや潮来市産品試食会などが開催されました。



2月12日(水)~16日(日) 中央公民館
第14回 水郷美術展覧会 開催

水郷美術家協会を中心に潮来市・行方市の美術振興及び向上を目的として、絵画・書道・写真・陶芸の4部門の作品を一般募集し、162作品(絵画40点、書道38点、写真54点、陶芸30点)が出品され、多くの方々に鑑賞していただきました。来年度は行方市の会場で開催されます。



2月22日(土) 潮来公民館
潮来あやめ寄席 開催

林家 たい平さん・吉原 朝馬さん・桃月庵 あられさんによる落語、林家 あずみさんによる三味線漫談、Mr. クマリックさんによるマジックが披露され、来場した約300人のお客様により、会場は割れんばかりの笑い声に包まれました。



2月22日(土) 道の駅いたこ
潮来高校 「潮来野菜特売会」開催

潮来高校 地域ビジネス科の生徒が潮来産の野菜を対面販売するイベントを開催し、多くのお客様にお買い上げいただきました。

イベントを迎えるまでには、実際に農家さんのもとを訪れ、収穫体験やインタビューもさせていただきました。



2月20日(木) 公立幼稚園・小中学校
防災給食が実施されました

防災意識向上を目的に非常食等を食べる「防災給食」が実施されました。メインの「防災カレー」は、被災体験の教訓をもとに栄養バランスを考えて開発され、本来は温めずにそのまま食べられます。市では「防災カレー」2,250食分を備蓄しており、ライフラインが途絶えたときの子ども達の非常食として活用します。